

5月25日の調査に同行し貴重な採集データをご提供いただいた森井隆文氏（一宮市）ならびに矢崎耀一氏（長野市），記載論文をご恵与くださった秋田勝己氏（津市）に深謝申し上げる。

引用文献

- 秋田勝己・益本仁雄，2016. 日本産ゴミムシダマシ大図鑑．304 pp. むし社，東京．
- Brendell, M. J. D., 1975. Coleoptera family Tenebrionidae. Handbooks for the identification of British insects. vol. V, part 10. 22 pp. Royal entomological society of London, London.
- Green, J., 1951. The food of *Cylindronotus laevioctostratus* (Goeze) (Col., Tenebrionidae) and its larva. Entomologist's Monthly Magazine, 87: 19.
- Hellrigl, K., C. Deiaco, & G. Mörl, 2012. Zum Vorkommen der Helopini Latreille 1802 (Coleoptera: Tenebrionidae) in der Region Südtirol-Trentino (N-Italien). Forest observer, 6: 273–310.
- 河路掛吾，2015. セスジユミアシゴミムシダマシの採集記録．佳香蝶，67 (261) : 4.
- 河路掛吾，2017. セスジユミアシゴミムシダマシの採集記録の訂正．佳香蝶，69 (270) : 22.
- Masumoto K., K. Ando, & K. Akita, 2006. New or little-known tenebrionid species from Japan (Part 5) A new species belonging to a new genus (Coleoptera: Tenebrionidae: Helopini). Entomological Review of Japan, Osaka, 61: 33–38.
- Nabozhenko M. V., N. V. Lebedeva, S. V. Nabozhenko, & V. D. Lebedev, 2016. The taxocene of lichen-feeding darkling beetles (Coleoptera, Tenebrionidae: Helopini) in a forest-steppe ecotone. Entomological Review, 96 (1) : 101–113.
- Nabozhenko M. V. & B. Keskin, 2017. Taxonomic review of the genus *Helops* Fabricius, 1775 (Coleoptera: Tenebrionidae) of Turkey. Caucasian Entomological Bulletin, 13 (1) : 41–49.
- Nabozhenko M. V., N. V. Lebedeva, & S. V. Nabozhenko, 2017. Life forms and strategies of lichen-feeding darkling beetles (Coleoptera, Tenebrionidae: Helopini). Entomological Review, 97 (6) : 735–746.
- Nabozhenko M. V. & K. Ando, 2018. Subtribal, generic and subgeneric composition of darkling beetles of the tribe Helopini (Coleoptera: Tenebrionidae) in the eastern Palaearctic Region. Acta Zoologica Academiae Scientiarum Hungaricae, 64 (4) : 277–327.
- 長野県，2015. 長野県版レッドリスト（動物編）2015，無脊椎動物のカテゴリー変更・除外・新規追加の理由．<https://www.pref.nagano.lg.jp/shizenhogo/kurashi/shizen/hogo/kisyoyasei/redlist/documents/ch5.pdf> (2020年5月1日時点)．
- Purchart L., 2012. Biodiversity research of darkling beetles on Socotra Island. Part I. The genus *Deretius* Gahan, 1900 (Coleoptera: Tenebrionidae). Zootaxa, 3158: 57–68.
- Purchart L. & M. V. Nabozhenko, 2012. Description of larva and pupa of the genus *Deretius* (Coleoptera: Tenebrionidae) with Key to the larvae of the tribe Helopini. Acta Entomologica Musei Nationalis Pragae, 52 (Suppl. 2) : 295–302.

(2020年5月4日受領，2020年6月30日受理)

【短報】長翅型のキュウシュウカラヒメドロムシの初記録

ヒメドロムシ科甲虫は後翅の発達程度が異なる翅多型が知られている (Brown, 1987; Elliott, 2008). キュウシュウカラヒメドロムシ *Sinonychus tsujunensis* Yoshitomi & Nakajima, 2012 は熊本県上益城郡山都町愛藤寺を基準産地として記載されたヒメドロムシ科甲虫であり，九州地方の福岡県，大分県，長崎県，熊本県，鹿児島県で分布が確認されている (Yoshitomi & Nakajima, 2012; 吉富，2012; 築島，2016). 本種が属する *Sinonychus* 属の特徴の一つと

して，後翅が未発達であることがあげられる (Jäch & Boukal, 1995; Yoshitomi & Nakajima, 2007, 2012). 筆者は，発達した後翅を有する長翅型のキュウシュウカラヒメドロムシを採集したので，*Sinonychus* 属初の長翅型として報告する．採集個体は乾燥標本とし，解剖後は無水エタノールの液浸標本とした．標本は筆者が保管している．

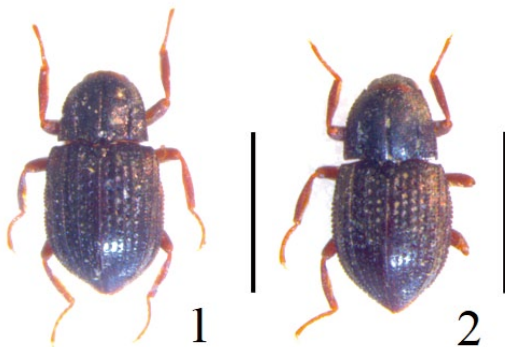


図1-2. キュウシュウカラヒメドロムシ. 1, 長翅型; 2, 短翅型 (スケールバーはともに 1.0 mm).



2 exs., 熊本県上益城郡山都町白藤, 17. IX. 2018, 吉田匠・保坂慎太郎採集, 吉田匠保管 (図1, 2).



図3-4. 長翅型のキュウシュウカラヒメドロムシの後翅 (スケールバーは 1.0 mm).

採集した2個体のうち、1個体が長翅型(図1)であった。長翅型の形態および体表構造は Yoshitomi & Nakajima (2012), 林 (2019) と概ね一致した。短翅型では上翅肩部の肩部が丸くなっているのに対し、長翅型では肩部が角ばり、発達した後翅が確認された(図3, 4)。図4の後翅は解剖中に破損した可能性があり、一部欠けた状態になっている。また、翅多型が存在するハガマルヒメドロムシ *Optioservus hagai* Nomura, 1958 では前胸の変形が知られているため(Kamite, 2015), 前胸の計測を行ったが、前胸の幅/前胸の長さ(PW/PL)の比は1.20で Yoshitomi & Nakajima (2012) で知られている1.13–1.50の範囲に収まり、変形は確認できなかった。

Sinonychus 属はこれまで短翅型の個体しか知られていなかった。国外産 *Sinonychus* 属の産地の状況は不明であるが、日本産 *Sinonychus* 属のキュウシュウカラヒメドロムシおよび、サトウカラヒメドロムシは、中島ら(2020)によると産地は局所的で、稀な種とある(サトウカラヒメドロムシでは産地はかなり局所的で、個体数も少なく稀な種とある)。以上の理由からこれまで得られた個体数が他の翅多型の知られているヒメドロムシ科甲虫よりも少なく、長翅型が得られなかった可能性がある。現時点では長翅型の出現率は不明であるが、ヒメツヤドロムシ *Zaitzeviaria brevis* (Nomura, 1958) の長翅型の出現率が3%であることが報告されており(Hayashi & Yoshitomi, 2015), これよりも低い可能性がある。

末筆であるが、本稿を作成するにあたり、ホシザキグリーン財団の林成多博士には、本種に関する種々の情報の御教示、資料の提供および原稿の校閲を頂いた。横浜国立大学の齋藤英明氏、岐阜大学の保坂慎太郎氏、京都大学の木村楓氏には調査に同行して頂いた。以上の方々に対し厚く御礼申し上げる。

引用文献

- Brown, H. P., 1987. Biology of riffle beetles. Annual review of entomology, 32 (1) : 253–273.
- 築島基樹, 2016. 久留米市高良内町および青峰に生息するヒメドロムシ科. KORASANA, (84) : 21–23.
- Elliott, J. M., 2008. The ecology of riffle beetles (Coleoptera: Elmidae). Freshwater Reviews, 1 (2) : 189–203.
- 林 成多, 2019. ヒメドロムシ科成虫の微細構造の観察. キュウシュウカラヒメドロムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (22) : 109–118.
- Hayashi, M., & H. Yoshitomi, 2015. Endophallic structure of the genus *Zaitzeviaria* Nomura (Coleoptera, Elmidae, Elminae), with review of Japanese species. Elytra, Tokyo, n.s, 5: 67–96.
- Jäch, M. A., & D. Boukal, 1995. Elmidae: 2. Notes on Macronychini, with description of four new genera from China. In Jäch, M. A., & L. Ji (eds.), Water Beetles of China, 1: 299–323. I. Zoologisch-Botanische Gesellschaft & Wiener Coleopterologenverein, Wien (410 pp.).
- Kamite, Y. 2015. Revision of the genus *Optioservus* Sanderson, 1953,

part 2: The *O. maculatus* species group. Koleopterologische Rundschau, 85: 197–238.

- 中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富博之, 2020. ネイチャーガイド日本の水生昆虫. 351 pp. 文一総合出版・東京.
- 吉富博之, 2012. キュウシュウカラヒメドロムシの追加記録. さやばねニューシリーズ, (8) : 26.
- Yoshitomi, H., & J. Nakajima, 2007. A new species of the genus *Sinonychus* (Coleoptera, Elmidae) from Japan. Elytra, Tokyo, 35: 96–101.
- Yoshitomi, H., & J. Nakajima, 2012. A new species of the genus *Sinonychus* (Coleoptera, Elmidae) from Kyushu, Japan. Elytra, Tokyo, n. s, 2: 53–60.

(吉田 匠 390–0802 長野県松本市旭 3–1–1

信州大学理学部理学科生物学コース)

【短報】沖縄島におけるアマミクイロクシコメツキの記録

アマミクイロクシコメツキ *Melanotus nodai* Arimoto, 2011 は、これまでに奄美大島と久米島に生息することが知られていたが(Arimoto, 2011; 鈴木, 2019), その間を埋める島々からの記録はなかった。筆者らは、これまでに記録がなく、その生息の可能性が指摘されていた沖縄島産の個体を検することができたので、ここに報告しておきたい。なお、標本は、鈴木が保管している。

1 ♂, 沖縄県国頭郡大宜味村上原, 22. III. –3. IV. 2020, 堀口徹・鈴木互採集; 1 ♂, 沖縄県国頭郡国頭村比地, 22. III. –3. IV. 2020, 堀口徹・鈴木互採集; 1 ♂, 同地, 3–8. IV. 2020, 鈴木互採集; 6 ♂♂, 沖縄県国頭郡大宜味村浜, 22. III. –3. IV. 2020, 堀口徹・鈴木互採集; 1 ♂, 沖縄県名護市名護岳, 3–8. IV. 2020, 鈴木互採集。

引用文献

- Arimoto, H., 2011. Notes on elaterid beetles (Coleoptera, Elateridae) from East Asia (III) : A new species of the genus *Melanotus* from Ryukyu Islands, southwest Japan. Elytra, New series, 1: 81–84.
- 鈴木 互, 2019. 久米島から採集された興味あるコメツキムシ5種. さやばねニューシリーズ, (36) : 70–73.

(鈴木 互 211–0031 川崎市中原区木月大町 6–1
法政大学第二高等学校生物科)

(堀口 徹 377–0007 渋川市石原 1197–4)